

7 食育・地産地消及び6次産業化の推進における数値目標

食育・地産地消及び6次産業化の推進状況を客観的な指標で把握するために、以下により数値目標を設定します。なお、数値目標は、前計画策定時の数値目標の達成状況、食育・地産地消推進のための4つの施策の柱の重点課題（P13～17参照）、6次産業化推進のための取組方針（P19～20参照）、国で策定した「第4次食育推進基本計画」及び県で策定した「第3次山形県食育・地産地消推進計画」の数値目標などを踏まえて設定しています。

(1) 食育・地産地消

施策の柱 (※)	区分	項目		現況値	目標値	備考
				令和2,3年度	令和8年度	
(1)	継続	朝食欠食率	小学校6年生	4.0%	0%	現況値はR3全国学力・学習状況調査（酒田市）の小6・中3の結果より（朝食を「あまり食べていない」または「全く食べていない」を回答した割合）
			中学校3年生	4.2%	0%	
			若年世代 （20～30代）	18.1%	12%以下	
	継続	朝食または夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週9.4回	週12回以上	現況値はR3「食育・地産地消に関するアンケート調査」の結果より	
	新	野菜をほぼ毎食食べる人の割合	71.6%	75%以上	現況値はR3「食育・地産地消に関するアンケート調査」の結果より	
	新	日頃の食事の中で減塩を意識している人の割合	77.3%	80%以上	現況値はR3「食育・地産地消に関するアンケート調査」の結果より（「いつも意識している」または「どちらかといえば意識している」を回答した割合）	

(2)	新	郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味などを前の世代から継承し、次世代へ伝えている割合	49.3%	55%以上	現況値は R3「食育・地産地消に関するアンケート調査」の結果より
	継続	学校給食における地場産食材の利用率	(小)73.3% (中)67.1%	(小)75.0%以上 (中)72.0%以上	現況値は R2 年度使用量（重量ベースによる庄内産食材の利用率）より
(3)	継続	可燃ごみに占める ^{ざんさ} 食品残渣（ごみ）の割合（水分を除く）	10.69%	10%以下	現況値は R2 可燃ごみ組成分類より
	継続	農林漁業体験受入者数	1,263 人	2,500 人以上	現況値は R2 市内グリーン・ツーリズム体験者数と松林清掃ボランティア等の林業体験者数より
(4)	新	産地直売施設の販売額	208,185 千円	218,595 千円以上	現況値は R2 市内産地直売施設（市設置）の販売額より

(※) 各数値目標に関連した、食育・地産地消推進のための4つの施策の柱の番号を記載しています。

(2) 6次産業化

取組方針 (※)	区分	項目	現況値	目標値	備考
			令和 2,3 年度	令和8年度	
①	継続	農産加工品の商品数	119 品	125 品以上	現況値は R2 年度「'20 酒田の普及活動」より
①	新	6次産業化関連のセミナー参加人数	16 人	60 人以上	現況値は R2 年度酒田市産業振興まちづくりセンター主催の6次産業化関連セミナーの農林水産事業者参加人数
②	継続	地場産農産物を使った商品を販売する商工業者数	42 社	50 社以上	現況値は R3 年 6 月時点の酒田商工会議所及びふれあい商工会会員における地場産農産物を使った商品を販売する商工業者数

(※) 各数値目標に関連した、6次産業化推進のための取組方針の番号を記載しています。